芸閣

～図書館だより～

第１０号
２０２４年２月
桐蔭図書館発行

芸閣…「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
（「**芸**」は書籍に挿む虫除けの香草）

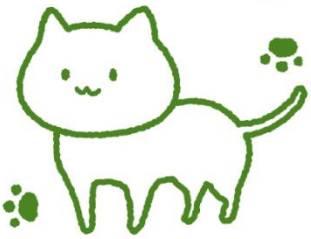
2月22日は猫の日

「にゃん（２）にゃん（２）にゃん（２）」で2月22日は「猫の日」。気まぐれ、自由奔放、クールなイメージの猫。猫が登場する本を読んでみませんか。

☆小説
『かのこちゃんとマドレーヌ夫人』万城目学 著
『本を守ろうとする猫』夏川草介 著
『夏への扉』ロバート・Ａ・ハインライン 著

☆写真集
『たまの駅長だより』坂田智昭 著
『ネコへの恋文』岩合光昭 著

☆猫について書かれた本
『猫の言い分お伝えします。』アネラ 著
『ネコの気持ち解剖図鑑』服部幸 監修
『もっと知りたい！ねこの気持ち』石田貞夫 監修



季語の世界 春　猫の恋

初春に恋のシーズンを迎えて、猫たちが騒がしい鳴き声を上げながら歩き回ったり、メスを巡ってオス同士でけんかしたりする様子を示す春の季語です。松尾芭蕉の「猫の恋やむとき閨（ねや）の朧月（おぼろづき）」、小林一茶の「鼻先に飯粒つけて猫の恋」など、多くの俳人に詠まれています。

©少年写真新聞社2023

（裏面に、新しく入った本の紹介、まちがいさがしクイズを載せています）

新しく入った本の紹介

『空と風と星と詩』尹東柱 著　コールサック社

『ようこそヒュナム洞書店へ』ファン・ボルム 著　集英社

『悪口ってなんだろう』和泉悠 著　筑摩書房

『いいことはすべて妄想から始まる！』かずみん 著　三笠書房

『ケアしケアされ、生きていく』竹端寛 著　筑摩書房

『勉強ができる子は何が違うのか』榎本博明 著　筑摩書房

『暗い夜空のパラドックスから宇宙を見る』谷口義明 著　岩波書店

『体育がきらい』坂本拓弥 著　筑摩書房

『ルールはそもそもなんのためにあるのか』住吉雅美 著　筑摩書房

『もしChatGTPが文豪や〇〇としてカップやきそばの作り方などを書いたら』爺比亭茶斗 著　光文社

『一緒に考える外国人支援』南野奈津子 編集　明石書店

中３のみなさんへ

借りている本は、卒業までに忘れず返却してください。

中学校卒業生は、高校生用の利用者番号に切り替える作業があるため、高校入学まで本を借りることができません。

高３のみなさんへ

借りている本は、卒業までに忘れず返却してください。

高校卒業生に対しては、受験対策等の特別な事情がある場合にかぎり、３月中も本を貸し出します。図書館へご相談ください。

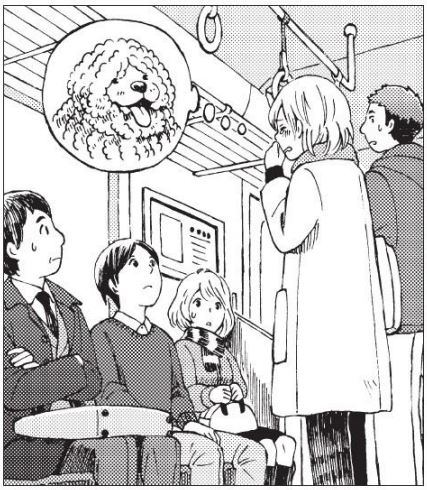
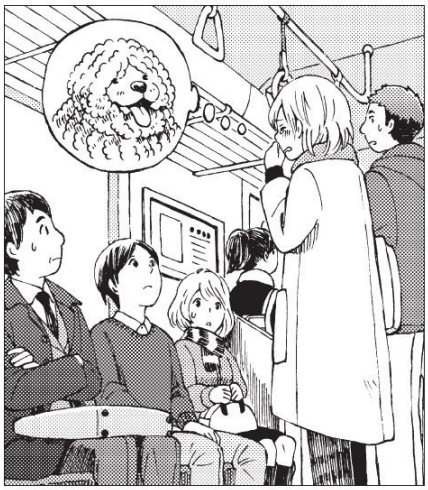
今月は新着図書が少ないのでまちがいさがしクイズを載せました

イラスト：イラストAC

名作まちがいさがし

「デューク」

江國香織

“私”は混雑した電車の中で、死んでしまった愛犬デュークのことを思って泣き続けます。周囲の人たちがけげんそうに見つめる中で、一人の少年が席を譲ってくれて、少しずつ、“私”の気持ちは落ちついてきました。

下の２枚の絵の違いを５か所見つけてください。